

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち1枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
1	諏訪 信一議員	<p>1 自転車保険について</p> <p>2 組体操について</p>	<p>自転車は身近な交通手段として、通勤、通学等に広く利用されているが、反面危険も潜んでいる。自分が怪我をするだけでなく、歩行者に怪我をさせたり、物を損したりするケースもある。</p> <p>自転車が原因となる事故が全国で相次いでいる。神戸地裁では、2013年歩行中の女性に頭蓋骨骨折などの障害を負わせたとして、自転車に乗っていた当時 11 歳の小学生の保護者に約 9,500 万円の賠償を命じる判決が出ている。</p> <p>(1) 小中学校生の自転車利用、保険加入の実態は。</p> <p>(2) 事故件数又は怪我の実数は。</p> <p>(3) ヘルメット着用は徹底しているか。</p> <p>(4) 自転車に乗れる学年又は安全教室の実施は。</p> <p>運動会、体育祭の花形種目として親しまれてきた組体操、小中学校の運動会等で事故（タワー・ピラミッド）が相次ぎ、組体操を取りやめる市町村が広がっている。</p> <p>(1) 伊佐市の対応は。</p> <p>(2) 実施している学校は。</p> <p>(3) 学習指導要領に基づく種目だと思うが、取り組む学年への安全対策は。</p>	<p>教育長</p> <p>教育長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち2枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	山下 和義議員	1 小・中学校の環境整備について	<p>伊佐市内の小・中学校は児童生徒の減少により、学校全体の環境を児童生徒とその保護者等だけでは守っていきにくくなってきているように思われる。</p> <p>そこで、次のことについて市長、教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 大口中央中は中学校再編により教育環境は何一つ不自由しない状況ができています。それに比べ菱刈中は児童の大幅な減少があるにもかかわらず学校管理の面積等はほとんど変わっていない。少ない生徒で短い掃除時間では全体の清掃ができない状況であると思う。そこで、保護者等が年間に何回か計画的にしている清掃ボランティアは、生徒と一緒に校舎等を清掃し、学校周辺や校庭等の草刈り等は外部に委託することはできないか。</p> <p>(2) 市内の小学校の学校管理を校区コミュニティ等に委託するときではないかと思うがどうか。</p>	市長、教育長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち3枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
2	山下 和義議員	2 伊佐市暮らしについて	<p>伊佐市は、平成 27 年度に伊佐市人口ビジョン、伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略を作成し、今後の進むべき道を示していることは良いことであると思う。ただ、少し視点を変えてみると、今伊佐市に他市町村から通勤している方々への明確な取組が示されていないと思われる。</p> <p>そこで、次のことについて市長・教育長の見解を伺いたい。</p> <p>(1) 伊佐市で働いている先生方は伊佐市に住んでいただきたいと思う。ただ、現実にはたくさんの先生方が他市町村から通勤をしている。なぜ、伊佐市に住んでいただけないのか、住もうとしないのか。そこらあたりを分析し働きかけていくことはできないか。</p> <p>(2) 市内企業に勤務している方々の中にも伊佐市に他市町村から通勤されている方々がおられます。伊佐市を知らない方々にアピールすることも大事だが、こういう方々は現実に伊佐市を知っていただいている。伊佐に住んでいただけるように働きかけていくことはできないか。</p> <p>(3) 今全国の市町村が人口減少に取り組んでいる。専門の担当課を設置し、予算等を措置し取り組むべきだと思うがどうか。</p> <p>(4) 人口対策に、市民の方々も真剣に心配している。市民の意見が反映できるような市民を中心の（仮称）「伊佐市の未来を考える市民の会」を設置し意見を取り込めるような政策はできないか。</p>	市長、教育長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち4枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
3	今村 謙作議員	1 空家対策について	<p>(1) 地方創生において、空家の利活用として、具体的施策⑱の中で、「空家等を活用した新婚家庭や新規就労者などの定住促進のための支援制度の拡充」とあるが、どのような取組になるのか伺いたい。</p> <p>(2) 「空家等対策特別措置法」に基づき、空家等対策計画の策定や必要な措置を行うとあるが、どのような内容か伺う。</p> <p>(3) 今後、空家等対策について、市民、地域、団体等の役割について伺う。</p>	市長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち5枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
4	前田 和文議員	<p>1 避難所などのあり方について</p> <p>2 各学校の安全点検は実施されているのか。</p>	<p>(1) 選定基準はあるのか。</p> <p>(2) 設備について問題はないのか。</p> <p>(3) 高齢者、幼児、女性にとっても安心できる体制にあるのか。</p> <p>(4) 利用する市民の意見を踏まえているのか。</p> <p>(5) 耐震的に問題はないのか。</p> <p>(6) 想定しえない災害に対し、仮設住宅設置予定地は設定されているのか。</p> <p>(1) 各学校の問題点について明確に把握できているのか。</p> <p>(2) その対応について、学童の安全を優先し、配慮された計画がなされているのか。</p>	<p>市長</p> <p>教育長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち6枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	岩元 克頼議員	<p>1 ヘリコバクター・ピロリ（ピロリ菌）対策について</p> <p>2 地域防災対策について</p>	<p>ピロリ菌は、胃潰瘍や胃がんの主たる原因といわれている。これに対応するため以下の点について答弁されたい。</p> <p>(1) ピロリ菌とはどういうものか。</p> <p>(2) ピロリ菌除菌の効用と胃がん検診にピロリ菌検査項目の追加</p> <p>(3) ピロリ菌検査の方法や経費の額及び検査料の助成に関する見解</p> <p>(4) ピロリ菌除菌の保険適用の周知</p> <p>(1) 昨年の台風、今年の寒波・大雪、熊本地震等を通じて本市の地域防災計画で見直すべき点は何か。</p> <p>(2) ハザードマップと周知の状況。また、今年作成する市民向け防災ハンドブック作成状況と活用。</p> <p>(3) 地域防災組織と防災訓練の実情</p> <p>(4) 民間住宅の耐震化率</p> <p>(5) 公共施設の耐震化率</p> <p>(6) 避難所の非構造部材の耐震化</p> <p>(7) 福祉避難所の状況について 場所、受け入れ人数、支援体制、周知の状況</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち7枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
5	岩元 克頼議員	<p>3 選挙の主権者教育について</p> <p>4 食品ロス削減に向けての取組を推進することについて</p>	<p>(1) 新たな有権者に対する主権者教育実施状況と反応</p> <p>(2) 公選法改正（投票所に入ることのできる子どもの入場を 18 歳未満の者に拡大）に伴い、これからの社会を担っていく人たちの政治意識を高め、主権者教育の好機とするため、小中学校に対して子ども同伴で投票所に行くことを保護者に呼び掛けてもらう自治体（盛岡市）がある。主権者教育上有効な方法と考えられるがどうか。</p> <p>農水省によると日本では年間 2801 万トンの食品廃棄物が発生しており、このうち 4 割近い 642 万トンが食品ロスと推計されている。すでに「30・10 運動」や NPO によるフードバンクの活動が知られている。国連は、2030 年までに世界全体で一人当たり食品廃棄物を半減させる目標を採択している。</p> <p>(1) 本市においても学校給食等を通じて食育を行い食べ残しを減らす教育が行われたと聞くが実情について伺いたい。</p> <p>(2) 飲食店等における「残さず食べる運動」や「持ち帰り運動」の展開など市民、事業者が一体となった食品ロス削減に向けた取組を進めることが重要と考えるがどうか。</p> <p>(3) 本市災害備蓄品の賞味期限後の廃棄については、賞味期限 6 か月前などにフードバンク等への寄附等を検討してはどうか。</p>	<p>選挙管理委員会委員長、教育長</p> <p>市長、教育長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち8枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
6	森山 良和議員	1 重点施策“アウトドアを楽しむまち”とはどのようなものか。	<p>(1) 重点施策“アウトドアを楽しむまち”については大きな期待を持つ。市内経済の活性化に向けて、新たなアクティビティ開発、イベント企画などがあるのか、計画及び内容について伺いたい。</p> <p>(2) アウトドア関連企業の誘致を行う考えはないか。また、関連企業や大学等の研究機関などと連携を図り、伊佐市でアウトドアを学ぶ場の提供を行うことできないか。</p> <p>(3) 自然を活かした施設整備を行うことで、多種多様なアウトドアスポーツを楽しむことも可能となり、多くの人に“アウトドアを楽しむまち”の情報発信ができる。伊佐市に合った、ニーズに応じた新規施設整備をどのように行っていくのか伺いたい。</p> <p>(4) 市民がアウトドアに親しみを感じ、その波及効果を実感できるまちへと変わることが求められていくと思う。また、定住人口増加へと結びつけていくためにも、伊佐市独自のプログラムを用意し、さらなる魅力を発見していく必要があるのではないか。今後、どのような考えを持って取り組まれていくのか伺う。</p>	市長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち9枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	市来 弘行議員	1 本市の課題解決に向けた取組と具体的政策について	<p>先日、市内の全世帯に「伊佐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の概要が配布された。その中で「4」として、「本市の人口減少に歯止めをかけ、経済を活性化し、まちを元気にしていくために必要な対策とは？」との問いかけがなされている。まさにこのことが、本市にとって最大の課題であると言えよう。</p> <p>以下の2点につき、具体的な政策提案をしてみたい。</p> <p>(1) 地方創生の大きな基本目標として、「1 交流人口の増加から定住人口を増やす」「3 6次産業化の推進」とあるが、そのための具体的な施策として、地域農業をリードしていく、また、この地域の元気の源となるような拠点の整備が何としても必要なのではないだろうか。</p> <p>すなわち、伊佐市を代表して物販・情報を発信する「道の駅」の創設である。流入人口をこの施設で吸収し、農産物の直売だけでなく、この地域の農産物を使った加工品も開発し、販売していく。「伊佐米」と「黒豚」を前面に出してのレストランや、この米を原料としたこの地特有のスイーツは何か作れないものであろうか。</p> <p>もちろん「ピザ釜」もこの場所に併設してもらいたいことになる。若い人の雇用の場としての役割も担ってもらいたい。</p> <p>行政が本気になって取り組まなければならない。今最も急ぐべき案件と考える。</p> <p>(2) 近い将来も含めた生産労働人口の推移・先行きということについて、極めて大きな危機感を抱いている。</p> <p>「雇用」の場創設ということについて考えると、本市は、住友金属鉾山の「企業城下町」という側面も持ち合わせている。</p> <p>将来を見据えて、住友金属鉾山本社、社長、事業本部長等への新工場誘致についての重点的なアプローチ、定期訪問活動をなすべき時と考える。</p> <p>また、2年に1回ぐらいのペースで、本社社長を招いての講演会の実施等、こちらの方から強くお願いしてみてもどうか。</p>	市長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち10枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
7	市来 弘行議員	1 本市の課題解決に向けた取組と具体的政策について	<p>行政と議会が一体となって、住友鉱山本社と親しくなっていく。必ずや、その努力は、どこかで報われてくるのではないだろうか。</p> <p>以上の件につき、所見を伺う。</p>	市長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち11枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
8	福本千枝子議員	<p>1 震度 7 を想定する本市の危機管理体制について</p> <p>2 「地域おこし協力隊」の活用で若者を呼び込め</p>	<p>4 月 16 日に発生した熊本地震は、益城町を震源とする震度 7 の本震のあとも震度 6 の余震が続き、多数の死傷者・避難者を出した。九州地方での震度 7 は観測史上初めてであった。そこで</p> <p>(1) 災害対策本部として機能を果たすべき自治体の庁舎も被害を受けた。本市の庁舎は大丈夫か。</p> <p>(2) 障害をもつ人や高齢者の避難の誘導は。</p> <p>(3) 指定された避難所は安全か。また、避難所での生活物資（毛布、水、食料品等）の確保は。</p> <p>(4) 住民に防災知識を周知させるべきでは。</p> <p>(1) 全国の自治体では地域を変えていく新しい力として「地域おこし協力隊」を活用し、全国で 2625 人（H27）が活躍している。農林漁業の担い手、高齢化による後継者不足、若者の流出等の課題対策として活用されている。 本市も少子高齢化が進み、人口減少、高校の存続、商店街のまちづくり等、多くの課題がある。「地域おこし協力隊」の活用で活性化につなげられないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち12枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
9	畑中 香子議員	<p>1 防災無線整備し、時報サイレンはメロディーに</p> <p>2 災害と川内原発について</p> <p>3 国保値上げ問題について</p>	<p>(1) 県下 19 市中、防災無線未整備地域は本市大口地区のみであり、時報にサイレンを吹鳴しているのも県下で本市のみである。このような状況に対する見解は。</p> <p>(2) 市内全域に防災無線を早急に整備し、サイレンはメロディー化を検討せよ。</p> <p>(1) 4月14、16日の熊本地震以後1500回以上余震が続く中、川内原発事故への不安が大きくなっている。予防原則に立ち、住民の不安が払拭されるまで川内原発を停止するよう九電等関係機関へ働きかけるべきでないか。</p> <p>(2) 避難計画の実効性のなさが浮きぼりになっている中、避難計画の見直しを行い県へ実効性のある計画を強く要請するべきではないか。</p> <p>(1) 3月議会で、国保税値上げを検討するとのことだが、アベノミクスの失敗により格差の広がり、経済状況の悪化で市民生活は困難を極めている。このような中値上げを行うべきではないと思うがどうか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち13枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
10	鶴田 公紀議員	1 郷土誌発刊	伊佐市は平成 20 年 11 月 1 日に誕生した。 (1) 10 年誌の発刊の検討は。	市長	
		2 公園管理運用	(1) 忠元公園の桜 100 選名所の復活は万全か。 (2) 忠元公園芝の養生期間は妥当か。 (3) 忠元公園使用料（減免措置）の対応 (4) 花公園（重留）の想定図の進捗状況は。 (5) 轟公園の遊具使用禁止の理由は。	市長	
		3 ふるさと納税	(1) 昨年返礼品の見直しがなされたがその後の経過について伺う。	市長	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち14枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
11	左近充 議員	<p>1 国体会場周辺整備について</p> <p>2 国道 267 号針持交差点改良について</p>	<p>(1) 湯ノ元橋の整備について</p> <p>(2) 鶴泊 1 号線道路改良について</p> <p>(3) 川南栗野線道路改良について</p> <p>(4) 合宿所は現在どのように進められているか。</p> <p>(1) 道路診断の結果は。</p> <p>(2) 市で交差点改良はできないか。</p>	市長	市長

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち15枚目)

順位	発言者	質問事項	質問の要旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
12	柿木原榮一議員	<p>1 防犯灯LED化に向けての促進事業について</p> <p>2 伊佐市の土砂災害の防止について</p>	<p>(1) 伊佐市に防犯灯として各自治会で維持管理しているもので、伊佐警察署補助の防犯目的なもの、また、旧大口市・旧菱刈町で補助された防犯目的なもの、把握されているものの数はいくらか。</p> <p>(2) 自治会が管理している既設の防犯灯（電球、蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯）をLED防犯灯に交換（更新）することで、地球温暖化、省エネ、夜間における犯罪の防止、もっと明るく住みよいまちづくりへの寄与、各自治会の光熱費の負担減、交換までの時間が長くなるなどの効果が期待されるが、LED防犯灯の設置を促進することの検討はできないか。</p> <p>(3) 2年程前に、伊佐市商店街街路灯設置等補助金で上中元町通り会にLED灯を設置していただいたが、夜間の明るさ、光熱費の削減に寄与している。このことから合併浄化槽設置のように基金を設ければ地元の事業者育成もされると思われるが、検討はできないか。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	

平成 28 年第 2 回定例会一般質問

平成 28 年 6 月 6 日・9 日・13 日

(16枚のうち16枚目)

順位	発 言 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨	質問の相手	長から委任を受けた説明者
13	中村 周二議員	<p>1 鳥獣処理施設</p> <p>2 国体カヌー等の P R</p>	<p>(1) どのような運営状況なのか。</p> <p>(2) これから先の取組を伺う。</p> <p>平成 32 年には国体のカヌー競技が、平成 31 年には高校総体のカヌー競技が伊佐市で行われる。また、平成 30 年には伊佐市 10 周年記念としてジャパンドラゴンカップを伊佐市で行いたいという話もある。</p> <p>(1) せっかくの大きな大会であるが、P Rはどんな規模で、どのように行うのか伺う。</p>	<p>市長</p> <p>市長</p>	